

# ごうどひとめぐり

104サイクル 児玉利文さん・和代さん



先月号の広報の表紙を飾った、公道ピストバイクレース「GODO☆MINOURA CRIT」。県内外から訪れた約80名の参加者が、ごうど中央スポーツ公園周辺の道路を走り抜けました。運営の中心となったのが、丈六道で「104サイクル」を営み現役の競輪選手でもある児玉利文さんと、妻の和代さんです。

利文さんは「自転車こそが人生」というほどの自転車好き。競輪選手としての活動の傍ら、国内外で開催される自転車レースにも参加してきました。ピストバイクレースの開催を決意したのは、自身も選手として参加した本場ニューヨークのレースの迫力に魅了されたのがきっかけ。以後、「sfiDARE CRIT」と銘打ったピストバイクレースを、岐阜県を始め大阪・京都など様々な場所で開催してきました。

ピストバイクはブレーキが無いため通常は公道を走ることができず、過去の大会では公園や駐車場などをコースとして利用してきました。「コース全てが公道のレース開催は夢でしたが、実現は難しいと思って

## 2年越し 念願の公道ピストバイクレース実現

いました」と利文さん。関係機関との協議を重ね、綿密な安全対策の上で許可が得られたのが2年前。コロナ禍による2度の開催中止を乗り越え、ついに実施に結び付けました。地元の自転車用品メーカーである(株)箕浦をメインスポンサーに迎え、全面的な協力のもと、安全対策のため通常よりスタッフを増員して万全を尽くしました。

和代さんは「開催に向けて説明に伺った時、近隣の皆さんに快く理解して貰えた。神戸町の人たちが受け入れてくれたからこそ開催できました」と話します。子育てで自転車から離れたもののダイエットを目的に復帰した経験から、「自転車はエクササイズにも最適。幅広い世代に参加してもらいたい」と言い、今大会でもキッズレースや初心者向け体験で裾野を広げています。

ボランティアを含む約60名のスタッフに支えられ、大会は盛況のうちに幕を下ろしました。利文さんは「公道を走るのとは別格の爽快感があった。若い世代に自転車レースの楽しさを伝えるため、定期的な開催を目指していきたい」と今後への意気込みを語ってくれました。



▲大会の様子

## 戸籍の窓

9月1日～9月30日までの受付分  
(届出順・敬称略)  
希望者のみ掲載しています

## 人の動き

令和4年10月1日現在

人口 … 18,621人 (- 6)  
男 … 9,101人 (+ 1)  
女 … 9,520人 (- 7)  
世帯数 … 7,163世帯 (+ 10)

※( )内は前月との比較



## お誕生おめでとうございます

区名	お子さんのお名前 (ふりがな)	親さんのお名前
瀬古	勝 穂 夏 (ほのか)	・章 紘, 桃 子
宮町	伏 見 ちはな (ちはな)	・公 志, 真知子
宮町	伏 見 あおい (あおい)	・公 志, 真知子
川西	上 野 想 太 (そうた)	・勝 , 慶 子
和泉	若 園 琉 悠 (りゅう)	・健 太, 愛 奈
丈六道	高 橋 杏 禾 (きょうか)	・将 広, 步 実
柳瀬	高 田 琥 生 (こう)	・一 吐, 友 美
下宮	高 木 梨月葉 (なつは)	・修 司, 友梨恵
加納	澁 谷 太 雅 (たいが)	・将 也, 梨 菜



## 心からお悔やみ申し上げます

落合	和 田 昭 夫 (91歳)
横町	田 宮 末 子 (89歳)
加納	名 和 幸 子 (89歳)
柳瀬	宮 嶋 貞 彦 (75歳)
付寄	山 川 美 行 (89歳)

